

小沢・民主党元代表の「陸山会」から五百万円の寄付を受けていた仁木博文・衆院議員。川島・県医師会長

編集部では、読者の皆さんからの情報提供や投稿を募集しています。また当社HP上にて、NET-NEWS(¥8,400)を設け、最新情報を発信しています。

情報提供や購読希望の方はご連絡ください。

☎ (088)664-5004

FAX(088)664-4809

E-mail-tribune@mail.planning21.ne.jp 昭和31年2月7日 第三種郵便物認可 第1119号 平成23年11



南大阪連堺市で記念イベント

結成20周年

関西で活動する阿波踊り連が

牟岐町

出身者を中心に踊り好きが集まった。踊りはオーソドックスな正調阿波踊り。太鼓や鉦の鳴り物も自前だ。連員は現在約八十人。南大阪は河内音頭の本場。当初はなかなか地域に溶け込めなかった。だが大和川の河川敷で地道に練習を重ね、地域のイベントにも積極的に参加。次第に地域住民になじんでいった。いまでは十月の堺

大阪市住之江区や堺市を拠点とする阿波踊りの「南大阪連」が結成二十周年を迎えた。県を中心に設立され、関西で阿波踊りの普及活動を行なう同連の二十年の歴史を支えたのは踊りにかける情熱だった。県人中心に設立、オーソドックスな正調踊り。南大阪連は平成三年に結成された。徳島県

観客の視線を浴びて演舞場に踊りこんだ時の緊張感と興奮はいまでも忘れられない。古参連員は当時を振り返る。起爆剤になった本場徳島への踊りツアー。本場・徳島での演舞場への踊り込みは同連

堺の常連組。阿波踊りでパレードを盛り上げていた。同連に転機が訪れたのが平成十二年頃。関西での活動が認められ、徳島市の阿波踊りの演舞場に踊りこめるようになった。それまではなかなか演舞場の順番が取れず、商店街や踊り広場で踊るだけだった。

歴史を支えた踊りへの情熱

20周年記念

▼結成20周年を迎えた阿波踊りの「南大阪連」。記念イベントでは、華やかな踊りを披露した。



市の阿波踊りに踊りこんだ。市役所前、藍場浜の両演舞場で踊りを披露。徳島駅前の一帯、東横イン前を踊り流した。東横イン前では通りかかった観光客が次々と踊りの輪に加わった。太鼓と鉦が祭り気分を盛り上げ、笑みと汗が夜の街に弾けた。

の大きな目玉イベントになった。徳島への一泊踊りツアーを企画。地域住民や歌手、ボクサー、政治家などが次々と参加。人が人が呼び、「阿波踊り」をキーワードにした交流の輪が広まった。同連は今年の夏も徳島

二十五年、三十年に向けて頑張りたい」と決意表明した岡崎連長。関西で阿波踊りの普及活動に取り組みむメンバーたちの踊りにかける情熱は一途だ。

二十五年の節目を迎えた南大阪連。今後の課題は後継者の育成だ。太鼓を中心とした鳴り物は若手が育っていないが、踊り子のパワーダウンは否めない。南大阪で産声を上げ、地域に溶け込む阿波踊り文化をいかに発展・継承していくか。

今年十一月十三日には堺市のホテルで結成二十周年を祝うパーティーが開かれた。日越関西友好協会代表理事として在大阪ベトナム総領事館の設立に貢献した和田貞夫元衆院議員や平田たかあき・堺市議など同連と縁の深い人や連員ら約九十人が出席。関西で活動する阿波踊り連、「奈良大仏連」「神戸楠公連」も友情出演。祝賀気分を盛りあげた。「二十五周年、三十年に向けて頑張りたい」と決意表明した岡崎連長。関西で阿波踊りの普及活動に取り組みむメンバーたちの踊りにかける情熱は一途だ。

二十五年の節目を迎えた南大阪連。今後の課題は後継者の育成だ。太鼓を中心とした鳴り物は若手が育っていないが、踊り子のパワーダウンは否めない。南大阪で産声を上げ、地域に溶け込む阿波踊り文化をいかに発展・継承していくか。

関西ジャズい

カビ田術職員該職員情報を